

# 日本企業1400社が採用している Biz/Browserの本質

片貝システム研究所

片貝孝夫

# Biz/Browserの原理はIBM3270

- 1972年IBMメインフレームの端末として生まれた3270
- 画面と属性、カーソルの移動順などをあらかじめホストから送り込んで置き
- 入力データは一括送信
- 画面単位にデータを入力したり表示したり
- メインメモリ16MBのホストコンピュータでも17500代の端末をサポートできた

# その後3270の端末は消えたが

- 3270プロトコルは今でも使われている
  - 古くはMS-DOSで
  - Xwindowで
  - Webシステムで
- なぜ今でも使われているか
  - 業務システムはデータの出し入れが仕事
  - 決まった画面がありホストにデータがある
  - このことは時代が変わろうと変化なし

# Biz/BrowserはWeb世界の3270

- 3270は画面属性だけだったが、
  - Biz/Browserはロジックが組み込める
  - Biz/BrowserはEXCEL互換機能もある(ほぼ)
  - Biz/Browserはデータのローカル処理が自由
  - Biz/Browserは外部デバイス連携ができる
  - Biz/Browserは、つまりクライアント側プログラム
- 3270はPFキーで割り込みをかけたが、
  - Biz/BrowserはPFキーを含むエニーキー

# 3270はプロトコルが様々に普及した

- Biz/BrowserもWindowsのすべてのバージョンに対応
- ハンディ端末にも対応
- Windowsタブレットにも対応
- iPadにも対応
- iPhoneにも対応
- Androidにも対応
- 1ソースマルチデバイスの実現

# Biz/Browserの特徴を少し

- 画面処理言語はJavaScriptライクなCRS (Chain Reflection Script)
- Biz/BrowserはCRSを食って動く
- Biz/Browserは完全に動作保証されている
- Biz/Browserはサーバとは非同期
- Biz/BrowserはHTTP(S)をサポートしているサーバならどこでも繋がる八方美人
- Biz/BrowserはOSのバージョンに依存しない

# CRSとHTML5

- HTML5は世界標準の言語仕様
  - しかしBrowserと言語とは別々に作られているので動作保証はない
- CRSは独自言語だが動作保証
  - ミッションクリティカルな世界では、動作保証をしてくれないと困る！
  - 利用する人のことを本気で考えている会社はCRS (Biz/Browser)になってしまう

# Biz/Browserユーザは浮気しない

- レスポンスがめちゃくちゃ速い
- こんな操作ができたらいいな、ができた
- 使っている人から使い勝手に不満が出ない
- 10年使ったからと言って取り換える理由がない
- ユーザは端末のOSやI.Eのバージョンを気にしなくてもよくアプリケーションに専念できる
- メンテナンスコストがWebシステムの1/3
- ついでにサーバコストも1/3

# 情報システムの目的は

- 会社の業績に貢献すること
- だったら、ランニングコストがかからず、利用者にストレスがまったくかからないシステムを提供せねば
- それにはBiz/Browserが一番かも

# 最後に

- サーバ側はオープンソースがいいが端末側は、ちゃんとメンテナンスしてくれて、動作保証してくれるものを選んだほうが、結局安上がり
- その他の情報は、メーカーである株式会社オープンストリームの池田さんからどうぞ！